



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.6.11 No.196

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
http://yamadakohei.jp

区立施設再編整備計画の見直しを求める

住民の声に答弁拒否…異常な区政運営

■区立施設再編整備計画等への改選後議員の賛否
「NOWAR杉並」アンケートより抜粋

候補者氏名	党派	賛否
大和田 伸	自民	○
脇坂 たつや	自民	○
原田 あきら	共産党	×
くすやま 美紀	共産党	×
富田 たく	共産党	×
市来 とも子	社民	△
山田 耕平	共産党	×
けしば 誠一	無所属	×
浅井 くにお	自民	○
奥田 雅子	ネット	○
新城 せつこ	無所属	×
太田 哲二	民主	○
上保 まさたけ	共産党	×
松尾 ゆり	無所属	×
金子 けんたろう	共産	×

候補者氏名	党派	賛否
吉田 あい	自民	○
山本 あけみ	民主	○
川原口 ひろゆき	公明	○
とみもと 卓	自民	○
おおつき 城一	公明	○
井口 かづ子	自民	○
大熊 昌巳	自民	○
今井 ひろし	自民	○
岩田 いくま	無所属	未回答
中村 やすひろ	公明	○
山本 ひろこ	公明	○
北 あきのり	公明	○
小泉 やすお	自民	○
川野 たかあき	無所属	×
はなし 俊郎	自民	○

住民無視の姿勢が明らかになり… 住民・議会軽視の区政の転換を

杉並区議会第二回定例会の一般質問において、党区議団の質問に対し、区長側が答弁拒否を行なうという重大問題が発生しました。質問では、区立施設再編整備計画に関する説明会で「住民の質問に対し、区がまともな対応を行わない」ことを指摘し、住民の声を取り上げ、説明責任を果たすよう求めました。しかし、区は「説明会での発言者ではない議員に対して、議会の場で答弁することは不適切」

回答をしなかった議員

そね文子（ネット）、堀部やすし（無所属）、小林ゆみ（無所属）、木梨もりよし（無所属）、横山えみ（公明）、藤本なおや（自民）、島田としみつ（公明）、井原太一（自民）、佐々木浩（無所属）、渡辺ふじお（公明）、松浦芳子（無所属）、大泉やすまさ（自民）、木村ようこ（維新）、増田裕一（民主）、安斉あきら（無所属）、田中ゆうたろう（無所属）、上野エリカ（無所属）、河津りえ子（民主）

※アンケート項目の詳細はNOWAR杉並ホームページを参照

**区の姿勢に道理無し
議論を尽くすべき**

そもそも議会は二元代表制の一角として、首長の行政運営を監視する責務があります。また、区民の声を代弁することも重要な役割です。住民の声を取り上げた議員の質問に、行政が答弁もしないということは全く道理がありません。

区立施設再編整備計画については、議会内で様々な立場の議員がおり（上表参照）、活発な議論が尽くされるべきです。民主主義の手続きすら蔑ろにする杉並区政の転換を求め、全力を尽くします。

設問は、「賛成」「反対」の選択肢より回答。当選者のみ抽出（候補者の順番は当選順）。

●賛成 18名 ●反対 10名
●保留 1名 ●未回答 1名

未回答は「アンケートの趣旨に賛同せず」との理由。

○無回答 18名

無回答の18名については、住民の代表として議席を預かる立場として「アンケートに回答もしない」という対応は、議員の姿勢が厳しくが問われることです。

という意味不明の答弁を行ない、事実上の答弁拒否。十二項目の質問のうち、十項目に答えませんでした。住民の声を無視し、議会を軽視する重大な暴挙です。区の姿勢に傍聴者から怒りの声が広がりました。

戦争法案反対の署名運動に全力

戦争法案反対の一致点で共同行動を！

戦争する国ストップ 戦争法案は廃案を

安倍政権は戦争する国づくりに向けた暴走を加速し、安保法制が国会に出されました。現在、審議が行なわれています。各種世論調査では、戦争法案に反対の声が過半数を超えている状況ですが、安倍政権は国民の声を聞くともせず、今国会中に同法案を強行成立させようとしており、極めて深刻な事態です。

日本共産党は、安保法制＝戦争法案の廃案に向けて、戦争法案反対の一致点で共同を強めます。

また、現在、署名運動（週刊ニュース194号に詳細）も行なっています。ぜひ、みなさんのご協力をお願いします。



日本共産党杉並区議団合同で宣伝行動を行っており、区内主要駅を回っています。

ストップ戦争法案 安倍やめろ!!デモ!中野・杉並

6月7日(日)杉並区～中野区間で「戦争法案反対」のデモ行動が行なわれました。NOWAR 杉並／なかの向上委員会が主催しました。

好天に恵まれ、300人を超える参加者で「戦争法案反対」を訴えました。

私も子どもと共に参加し、子どもたちの未来を守ろうと声を上げました！

今、日本全国で戦争法案反対の共同行動が広がっています。安倍政権の暴走を世論で包囲することが必要です。



子どもと共に元気よく声をあげました！

育メン日誌

パパごはんが好評 (泣)

最近、妻(保育士)の仕事がキツイです。職場の正規職員の割合が減り、正規職員にかかる負担が重くなっているようです。

妻の帰宅が遅い時には、私がお飯を作り子どもに食べさせます。正直、料理のレパートリーもあまり無いため、本当に大変です(苦笑)。しかし、苦勞して作ったご飯を子どもたちが「おいしい」と食べてくれると本当に幸せです(泣)。多分、味付けが濃いからだと思いますが(改善が必要)、結構好評です。これからも研鑽に励みます！



私が作ったメカ
ジキの照り焼き
(右)たらふく
食べたお腹...食
べ過ぎです(左)

「戦争法案」区長の姿勢が問われる

■未だに「国の動向を注視」…不十分な姿勢

今議会における「戦争する国づくり」についての質問に対し、区の答弁は、いずれも「国の動向を注視する」という不十分なものでした。

国会では、衆院憲法審査会で憲法学者3氏がそろって、集団的自衛権を可能にする戦争法案については「憲法違反」との認識を示しています。自治体の首長には憲法尊重擁護の義務があり、同法案に対する踏み込んだ姿勢が求められます。

■田中区長の答弁が著しく後退…

かつて、秘密保護法の採決直前、田中区長は自身の答弁で安倍政権の姿勢に対し「法案が国民の多くの方に理解をされ賛同されるよう努力すべき」「政府内で十分に議論され尽くしているのか、少々疑問」「各種メディアも問題点を指摘するなど、多くの国民の方々も不安に感じている」「国はしっかりと議論を重ねまして、国民から理解が得られるよう慎重に進めていくべき」などと意見を述べていました。しかし、この間、答弁が著しく後退しています。多くの世論調査で国民の理解を得ているとは言い難い状況であるのにも関わらず、戦争法案を注視する姿勢に留めることは問題です。